

ナンバリング	B⑤03	科目名	社会的養護 I
担当形態	単独	担当教員	中嶋 一郎
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③, ④		
テキスト	なし		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	2 単位・講義
到達目標	・社会的養護の理念と概念を理解し、保育士として実践で使用出来る知識を身につける。 ・児童の権利、児童養護の理念を理解し、保育士として実践で使用出来る知識を身につける。 ・施設養護における自立支援等の具体的な支援について理解し、保育士としての実践力を身につける。 ・社会的養護の抱える今後の課題について理解し、保育士としての考察力、対応力を身につける。		
授業の概要	この科目は、保育士資格を取得するための必修科目であり、保育実践に不可欠の知識・技能を学習するものである。 具体的な内容としては、社会的養護の意義、制度や実施体系及び児童の権利擁護について理解する。また、関係法制度や最新の統計データを参考にしつつ、児童福祉施設の今日的動向と各サービスの特徴を理解する。 授業の形式は、講義、演習、ディスカッション等で実施をする。		
授業計画	第 1 回:オリエンテーション 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷①社会的養護の理念と概念 第 2 回:現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷②社会的養護の歴史的変遷 第 3 回:社会的養護と児童家庭福祉①児童家庭福祉と社会的養護の関係性 第 4 回:社会的養護と児童家庭福祉②児童の権利擁護と社会的養護 第 5 回:社会的養護の制度と実施体系①社会的養護の制度と法体系 第 6 回:社会的養護の制度と実施体系②社会的養護の仕組みと実施体制 第 7 回:社会的養護の制度と実施体系③家庭養護と施設養護 第 8 回:社会的養護の制度と実施体系④社会的養護の専門職 第 9 回:施設養護の実際①施設養護の基本原則 施設養護の実際/養護系施設 第 10 回:施設養護の実際② 施設養護の実際/非行系施設・障害系施設 第 11 回:施設養護の実際③ 施設養護とソーシャルワーク 施設等の運営管理記録の作成の留意点と自己評価の視点 第 12 回:社会的養護の課題と展望① 生活単位の小規模化とケア体制 第 13 回:社会的養護の課題と展望② 社会的養護の担い手のケアの必要性		

	第 14 回:社会的養護の課題と展望③ 社会的養護の課題 第 15 回:保育士として社会的養護にどのように関わりたいのかを考える				
準備学習と必要時間	・授業前は事前学習として前回学んだことを 60 分以上かけて復習してください。 ・授業後は事後学習として学んだ内容に関する社会的な出来事を 60 分以上かけて調べて理解を深めてください。 ※第 1 回目の事前学習として、「社会的養護の意味と理念」を 60 分以上かけて調べてまとめておいてください。				
評価方法	授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 期末試験 55% 2 授業毎の感想レポート45%				
参考文献	授業中に適宜示します。				
特記事項	・携帯電話等の使用や私語等を慎むことは、守るべきマナーです。(減点の対象) ・授業等で不満があれば個人的に受け付けておりますので、いつでもご相談ください。 ・自分の意見を持つことは、共に学ぶ学友との相互理解を深めるための道具です。自分の意見はワークシートにまとめ、それを元に他人と議論を交わしてください。 (以下、加点の対象) ・他の学生を尊重し、その意見をしっかりと受け止めてください。 ・発表の際には、他の学生に伝わる大きさの声で行ってください。 ・わからないことがあれば、授業内、外で積極的に質問をしてください。 ・単位を修得できない場合は社会的養護Ⅱを履修できません。				
課題へのフィードバック方法	試験後、模範解答を提示して解説を行います。 授業毎に課す感想レポートについては、特に返却はいたしません。 質問等の記載があった場合は、個別対応、または次回の授業にて補足をします。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状		
	その他		保育士資格	必修	保育の本質・目的に関する科目
実務経験のある教員等による授業内容					